

国際ジェンダー学会会員のみなさま、および新規入会を検討されている方へ

緊急事態宣言は解除されましたが、まだまだ第1波が完全に収束していない地域もあり、第2波の到来が懸念されるところもあるなか、会員の皆様には、不安が消えることないままお忙しくお過ごしのことと思います。オンライン授業の対応だけでなく、さまざまな新しい生活習慣への対応を強いられ、疲労困憊な方が多くいらっしゃいます。しかも気温が上がってまいりました。みなさまどうか、身体には気をつけ、なんとか乗り切ってまいりましょう。

すでにMLでお知らせしました通り、2020年大会は、9月12日(土)・13日(日)に開催予定の国際ジェンダー学会2020年度年度大会は、和洋女子大学佐倉セミナーハウスでの開催を取りやめたうえで、ウェブ会議アプリを使用したオンライン形式で実施することになりました。

大会第1日目は、ラウンドテーブルとシンポジウム1を予定しています。シンポジウム1では『ジェンダーとインターセクショナリティ』の視点から連帯を考える(仮題)をテーマに、地球規模での格差の広がりや多様性の尊重をふまえたうえでの連帯について考えます。

2日目は「個人発表」とシンポジウム2を予定しています。シンポジウム2では、「宗教実践は女性をエンパワーメントにいかにか寄与しうるか(仮題)」という題で議論を展開します。国際ジェンダー学会ではあまり扱われることのなかった宗教とジェンダーというテーマに、しっかりと向き合いたいと考えます。

なにぶん、オンライン開催は初めての経験ですので、各種企画・実施者の方々、個人発表者を希望される予定の方々、そして参加者のすべての皆さまには、この特殊事情を十分にご理解頂き、通常の大会以上に実行委員への協力と寛容な対応をお願いしたいと思っています。また、企画ごとや企画内の発言者のオンライン運営・発表の技術の習得も必要です。企画ごとや個人ごとにウェブ会議アプリ等の習得のために情報を集めて練習を行う等、どうか何とぞご協力をお願いいたします。

6月中旬には「第2報」で、各プログラムの日程やタイムテーブルの詳細について、またラウンドテーブルと個人発表の申し込み方法、申し込み書式についてお知らせします。また、「第2報」以降は、国際ジェンダー学会公式ブログを主たる連絡手段といたします。お手数とは思いますが、メーリングリストをご参照のうえ、公式ブログを積極的に活用いただけますようお願いいたします。

2020年大会実行委員長 江藤 双恵